

朝夕は冷え込むようになりましたね。この時期はかぜを引きやすいので、体が冷えてしまわないようにきちんと下着を着て、体温調節をしましょう。日中はまだまだ暑い日もあり、子どもたちもよく汗をかいています。子どもは新陳代謝がよく、汗をかきやすいので厚着しないように注意しましょう。

10月10日は目の愛護デー 幼児クラスは10月中に視力検査 を予定しています



子どもの目は毎日発達しており、6歳頃に大人の視力まで完成すると言われています。

最近、幼児期からスマホやタブレット、携帯ゲームなどに触れる機会が多くなっています。

長時間の使用は視力の低下や、瞬きの減少によりドライアイになったり、画面から出るブルーライトは目の疲れや痛みを引き起こしたりします。年齢が低いほど、ブルーライトの影響を受けやすいといわれているため、スマホやタブレット、ゲーム機器の使用は時間を決め、画面に近づきすぎないように気をつけましょう。

こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いや顔を傾けて物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている など



幼児クラスは10月～11月に視力検査を看護師が行う予定としています。そらぐみは初めてのため、練習を個別ですてから行いたいと思います。

受診目安の結果になった場合は、受診報告書をお渡ししますので、受診していただくようお願いいたします。

感染症情報

9月の当園児感染症報告…溶連菌感染症 1名
大阪では春頃から流行しているRSウイルスが少し落ち着いてきているようですが、手足口病やヘルパンギーナ、溶連菌感染症などが9月後半から大阪で増えています。

寒くなると乾燥も強くなり、再びRSウイルスなど、様々な感染症が流行しやすくなりますので気を付けていきましょう。

コロナウイルスに関しても、第5波のピークは過ぎましたが、まだまだ今後も油断はできません。引き続き、感染対策にご協力をお願いいたします。

幼児の保護者の方へお願いです

予備のマスクを毎日リュックにご準備いただくようお願いいたします。汚れたり、濡れたりしたときに交換したいと思います。

引き続き、食事・園庭や3階での活動時・午睡時以外の時間に、マスクの着用を継続していきたいと思います。

インフルエンザ予防接種の時期です

インフルエンザは、通年12月後半頃から流行期となります。

保育園でも流行しやすく、昨年度は当園児の感染者はいませんでした。2019年度は23人感染しました。

昨年は、全園児の約8割の方が予防接種を受けられており、予防接種を受ければ必ず罹らないというわけではありませんが、罹る確率や重症化リスクは減らすことができます。

肺炎やインフルエンザ脳症などを合併することもあるため、しっかり予防していきましょう。



13歳未満の子どもは2回接種が必要となり、2回目との間隔は2～4週間あける必要があります。

12月後半頃からの流行期までに抗体をつけるには、10月中に1回目の接種を行うことが推奨されています。今年はインフルワクチンの供給量が少ないとニュースにもなっていますが、すでに予約が終了している病院もあるようです。早めの予約をおすすめします。

昨年同様、園でも接種状況を把握させていただきたいと思います。

予防接種を受けられたら、コドモンの記載で構いませんのでご連絡いただきますようお願いいたします。